

	教育のねらい・目標	研修テーマ	目的	目標	研修予定月
レベル I	組織の一員として職場に適応し、指導の下で安全な看護を提供するために必要な基本的知識・技術を習得する	新採用者オリエンテーション	1) 国立病院機構職員の役割と組織を知り、職員としての心構えに繋げる 2) 演習を通して基礎看護技術を学び、実践に活かす	1. 国立病院機構及び当院について基礎的な内容を理解する 2. 講義や演習を通して、看護師として必要な知識・技術を学ぶ	採用時
		夜勤前	夜勤の心構えと夜間の看護について知識を持ち、OJT(オリエンテーション夜勤)に繋げる	1. 夜勤に向けての心構えを持つ 2. 患者の24時間の生活をイメージして、夜間の看護を知る	5月
		リフレッシュ研修	同期入職者と仲間作りをすすめ、心身をリフレッシュする	1. 同期入職者と交流する 2. 心身をリフレッシュする	6月
		フィジカルアセスメント	基本的なフィジカルアセスメントが分かり、看護の必要性の判断や、実践したケアの評価に活かす	1. フィジカルアセスメントの意義・目的を理解する 2. フィジカルイグザミネーションの基本技術(視診・触診・聴診)がわかる	7月
		NHO・政策医療	NHO及び自施設が担う医療を理解し、その一員としての役割遂行に繋げる	1. NHO及び自施設が担う医療が分かる 2. 自分たちが担当する医療分野の看護が分かる	9月
		看護チームの報・連・相	複数の患者に対して安全な看護を提供するために必要な能力を養う	1. 安全に配慮した優先順位の判断について理解する 2. 必要に応じた報告・連絡・相談が分かる	10月
		看護倫理	専門職業人としての使命と心構えを持ち、多様な価値観・信条や生活背景をもつ人を尊重した行動をとる	1. 看護者の倫理綱領を理解する 2. 専門職業人として、倫理的使命と心構えが分かる	11月
		看護実践の振り返り	心に残った看護場面を振り返り、看護について考えを深める	1. 心に残った看護を振り返り、自分の言葉で表現する 2. 他者の振り返りを聞き、自己の学びを深める	2月
		院内留学 (希望者対象)	自部署では経験することが難しい基礎看護技術を経験し、知識を深める	採用1年以内に習得が望ましい看護技術を経験または実践できる	2、3月
レベル II	根拠に基づいた看護実践(看護過程の展開)を通して、自己の看護観を高める	ケーススタディに必要な知識を学ぶ① 根拠に基づく看護実践	事例(ケーススタディの文献)をもとに、根拠のある看護に必要な要素を理解し、看護過程の展開に活かす	1. ケーススタディが分かる 2. 優れたケーススタディを読み、根拠に基づく看護に必要な要素を理解する	6月
		ケーススタディに必要な知識を学ぶ② 課題を見出す	看護実践の意見交換を通じて、ケーススタディに取り組みきっかけをつかむ	1. 患者個々の多様な価値観とその尊重を理解する 2. 看護のエビデンスに照らして課題を抽出する	7月
		ケーススタディに必要な知識を学ぶ③ 文献を用いたまとめ方	文献検索方法を知り、行った看護を理論や科学的根拠をもとに分析し、表現することに繋げる	文献を用いた、ケーススタディのまとめ方がわかる	10月
		ケーススタディ発表会	ケーススタディの発表を通して自己の看護を深め、看護実践の質向上に繋げる	1. ケーススタディを通して自己の看護を表現する 2. ケーススタディの発表を通して、学びを共有する	1月
レベル III	看護チームの一員として役割を發揮するために必要な知識を習得し、看護実践者としての能力を高める	チームビルディング① チームビルディング	チームビルディングの知識を得て、主体的に看護チームの一員として役割を遂行することに繋げる	1. チームビルディングを体験する 2. 目標達成の成功要因を考える	6月
		チームビルディング② リーダーシップ	チームビルディングのプロセスを振り返り、目標達成に向かうリーダーシップと自己の役割遂行に繋げる	1. チームビルディングのプロセスを振り返る 2. リーダーシッププロセスと役割の發揮を考える	7月
		チームビルディング③ まとめ	自己の役割を發揮した看護場面を振り返り、意見交換を通じて自己の学びを深める	1. 自己の役割を發揮した看護場面を表現する 2. 看護実践場面の意見交換を通じて、学びを共有する	12月
レベル IV	看護チームのリーダーや、後輩の学習を支援するために必要なスキルを習得し、組織における役割遂行に寄与する	後輩の学習を支援する コーチング	コーチングの知識を持ち、スタッフや後輩の力を引き出すために必要なコミュニケーション能力を高める	1. コーチングについて知る 2. ロールプレイにより、コーチングを体感する	5月
		セルフマネジメント	多角的に自分自身を理解し、看護チーム内で果たすべき役割を見出す	1. 看護チーム内で役割を果たすための自分の目的、目標が明確になる。 2. 目標に向かうための自らの行動を述べる	9月
		看護実践のリフレクション	看護実践の経験のリフレクションを通して、経験の意味や価値を再認識し、経験をより質の高い看護実践や自己成長に生かす	1. リフレクションを知る 2. 看護実践のリフレクションをする	11月
		組織論	看護管理の視点から組織について理解し、自部署での役割遂行に役立てる	組織について知り、自部署の課題と自分の役割について考えることができる	2月